

目的 鹿鳴館時代を代表する衣裳については、これまでに本学会において鯛島報效会管蔵の極めて貴重な優品を発表してきた。本年度は明治20年頃のものといわれるバックスル・ドレスについて調査・研究をおこなった。

方法 文献・実物資料から調査研究し、その特質について考察を試みた。

結果 ドレスに付けられた織ネーム・付属品ネームから英国製であることが判明した。

縫製技術は素材の風合を損なわぬように部位によってミシン縫いや手縫いを併用しており、外国製のオリジナルな縫製技術が理解できた。